

2017年9月の邦人犯罪被害事例

在フランス日本大使館領事部

9月中に大使館領事部に届けられた邦人の犯罪被害件数は26件で、2017の合計は、計311件となりました。

今月のコメント!

◎置き引きの被害が増加しています。バッグを足元や隣の席、棚などに置いている場合は狙われやすいので、可能な限り肌身離さず管理するよう十分注意してください。

◎渡航にあたっては、外務省海外旅行登録「たびレジ」への登録をお勧めします。

【2017年9月の被害届分析表】

○被害手口	当該月	累計
強盗	3	5
ひったくり	2	19
スリ	10	188
置き引き	10	89
車上狙い	0	8
侵入盗(空き巣等)	0	1
偽警察官	0	0
その他の手口・不明	1	1
合計	26	311

○事件発生時間帯	当該月	累計
0時台～5時台	0	7
6時台～9時台	0	25
10時台～13時台	8	70
14時台～17時台	6	94
18時台～21時台	11	83
22時台～23時台	1	17
不明	0	15
合計	26	311

○事件発生曜日	当該月	累計
月曜日	6	38
火曜日	2	39
水曜日	3	39
木曜日	3	40
金曜日	4	44
土曜日	1	58
日曜日	7	51
不明	0	2
合計	26	311

○平日・休日の別	当該月	累計
平日	18	186
週末・祝祭日	8	123
不明	0	2
合計	26	311

○発生場所	当該月	累計
○パリ市内及び近郊		
地下鉄車内・駅構内	3	85
RERのB線	0	12
上記以外の電車・駅構内	0	2
凱旋門・シャンゼリゼ通り界限	2	24
エッフェル塔界限	1	18
オペラ座界限	7	45
ルーブル・オルセー美術館界限	1	8
上記地区以外のレストラン・カフェ	1	13
上記地区以外のホテル	0	4
上記地区以外の路上	5	26
その他の場所・不明	3	26
○パリ市とその近郊以外		
電車・駅等交通機関	3	17
レストラン・カフェ等	0	7
ホテル	0	1
路上	0	16
その他の場所・不明	0	7
合計	26	311

○性別区分	当該月	累計
男性	12	175
女性	14	136
合計	26	311

○年齢	当該月	累計
20歳未満	0	15
20歳代	5	78
30歳代	6	58
40歳代	3	43
50歳代	8	56
60歳代	2	39
70歳以上	2	20
不明	0	2
合計	26	311

○月別発生件数(2017年)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
29	36	42	30	33	39	46	30	26	0	0	0	311

【9月の被害例】

1. Blanche 駅付近を歩行中、10 ユーロで観られるダンスショーがあると声をかけられ入ったところ、1人しかおらず、女性が出てきて服を脱ぎだした。まずいと思い、すぐに出ようとしたが男性数人に囲まれ、特別なショーであると言われ 750 ユーロの支払いを求められた。危険だと思いカードで支払ってしまった。(男性出張者)
2. 凱旋門付近のレストランで食事中、席の下に置いていたカバンがいつの間になくなっていった。(男性旅行者)
3. オペラ・ロワシーバス乗り場にて荷物を路上に置いていたところ、少し目を離した隙に盗まれていた。(男性旅行者)
4. バスティュー駅付近のカフェのテラス席で食事中、隣の席にバッグを置いていたところ、気づいたら盗まれていた。(女性旅行者)
5. TGVの電車内で席上の荷物棚にリュックを置いていたところ、下車時になくなっていることに気づいた。(男性在留邦人)
6. 東駅からメトロに乗車した時、ベルトを外され、ウエストポーチを持っていかれた。追いかけたが逃げられた。(男性旅行者)
7. CDG空港からパリ市内に向かうタクシーに乗車中、渋滞で停車した際に窓ガラスを割られ、顔にスプレーをかけられショルダーバッグを強奪された。(女性旅行者)
8. ギャラリー・ラファイエット前の交差点で信号待ちをしていた際、背中に背負ったリュックサックが一瞬引っ張られるような感じがして振り向いたら、スカーフをした女性が去って行った。リュックを確認したところ、チャックが開いており貴重品が盗まれていた。(女性旅行者)
9. 東駅前の路上で男性にコートの後ろが汚れていると声をかけられた。ショルダーバッグを路上に置き、コートを脱いで確認している間に別の男が近づいて来てバッグを持ち去られた。(男性出張者)
10. リヨン駅のホームでスーツケースの上に置いていたリュックが目を離した隙に盗まれた。(男性出張者)